

# プラスチック燃焼ガスの評価

## 概要

プラスチックを燃焼させた場合に発生する有害成分をJIS K7217(プラスチック燃焼ガスの分析方法)に準拠した方法で評価を行う。

### ● 燃焼ガス捕集装置

- ① 支燃ガス供給部
- ② 燃焼部
- ③ 燃焼ガス捕集部  
(代表例：テドラーバッグ)

[標準燃焼条件]

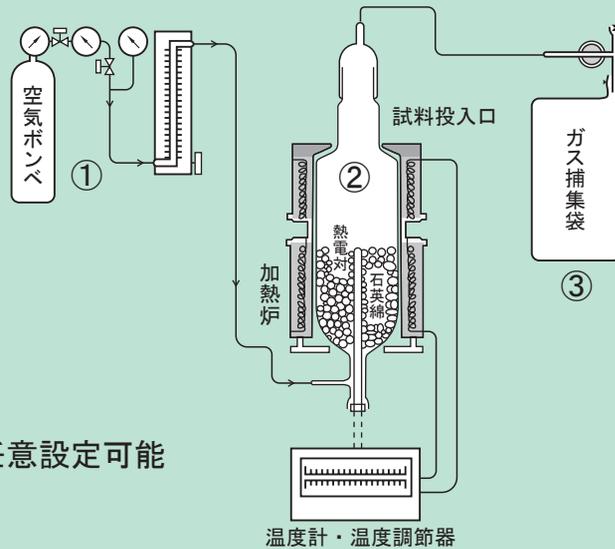
燃焼温度：750℃

空気流量：0.25 l/分

採取時間：7分

試料量：0.10 g

※燃焼温度は1000℃まで任意設定可能



### ● 捕集成分の分析法

ガスクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ法、化学発光法、ICP-AES法などで測定

### ● 分析例(ポリウレタン：標準燃焼条件) (単位) 発生量mg/g

成分	発生量
一酸化炭素CO	173
二酸化炭素CO <sub>2</sub>	343
メタン	21
エチレン	57
ベンゼン	49
スチレン	45

成分	発生量
塩化物HCl	0.5
硫黄酸化物SO <sub>x</sub>	0.1
窒素酸化物NO <sub>x</sub>	0.8
硝酸HNO <sub>3</sub>	0.6
シアンHCN	126
アンモニアNH <sub>3</sub>	9.0

### ● 評価項目

- ① 炭化水素類(CO, CO<sub>2</sub>含む21成分)
- ② イオン性成分(Cl<sup>-</sup>, NO<sub>x</sub>, SO<sub>x</sub>, CN<sup>-</sup>, NH<sub>4</sub><sup>+</sup>)
- ③ 重金属類(Cd, As, Pb, Hgなど)

これらのデータから環境への影響を推測することができる

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

お問合せ ☎03-5524-3851